

採択年度	R5	R4	R3	R4
企業名	Archetype Ventures	愛知キャピタル株式会社	ANRI	epiST Ventures
HP	https://archetype.vc/	https://www.aichibank.co.jp/company/information/list/capital/	https://anri.vc/	https://epist.ventures
VCの概要	シード/アーリーステージのB2B Tech Startupに特化し、2013年の創業以来、4つのファンドにて計約120億円を運用し、約46社に投資支援。(2023年8月現在) "Entrepreneur First"を使命に、起業家に一番近い存在として資金だけではなくあらゆる付加価値を提供。	2022年1月設立の愛知銀行100%子会社のベンチャーキャピタルです。愛知銀行及び中京銀行営業エリアに所在するベンチャーを中心に、業種問わず、幅広いステージを投資対象としています。また、出資後は最寄りの愛知銀行または中京銀行営業店の担当者をお繋ぎし、銀行グループ全体でのハンズオン支援を行っています。	シードステージへの投資に強みを持つ、独立系ベンチャーキャピタルで、インターネット領域を中心に、ディープテック領域や、ライフサイエンス等の投資回収期間が比較的長期な領域やITとの融合領域へも投資をしています。オリジネーションから手掛けるのが特徴です。	epiST Venturesは、大学発ベンチャーを含む技術系スタートアップへの投資育成を行う独立系ベンチャーキャピタルです。 事業経験(起業→IPOの実績含む)に基づく経営課題に対する支援、事業会社とのPoCなどの事業開発の支援、大学の研究室との産学連携の支援が特徴です。
属性	独立系	金融機関係	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー	シード、アーリー、ミドル、レイト	シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	B2B Tech全般に幅広く投資。投資実績としては、AI、SaaS、ビジネスツール、HR、ヘルスケア、宇宙、業界特化、サステナビリティ、サーキュラーエコノミー、ディープテックなどがあります。	全業種を投資対象としています。但し、投資地域は愛知、岐阜、三重、静岡(愛知銀行及び中京銀行の営業エリア)に限定しています。	インターネット領域からディープテック領域、融合領域等	AI/DX、脱炭素/サーキュラーエコノミー、ヘルスケアが中心です。
1社あたりへの投資金額(目安)	初回投資で数千万円、その後のフォローオン投資も含めて相当資金額で最大10億円。	5~100百万円	数千万円から最大20億円まで	10~50百万円
リードインベスターのスタンス	リード、フォローのこだわりはないものの、リードで出資させていただくことが多くなっています。	フォローが中心ですが、ラウンド調達総額によっては単独出資を行う場合もあります。	シード、アーリー期においては原則リードインベスターとして支援する方針です。	主にリード投資となりますが、フォロー投資も実施しております。
投資先への支援内容	各ステージにおいて経営者に寄り添いながら、経営視点で必要な支援を柔軟に提供。特に、アーリー期の顧客開拓支援、ミドル期のグロース支援、組織支援、レイト期のExit戦略支援など。	愛知銀行及び中京銀行グループのリソースを活用してハンズオン支援を行います。具体的には愛知銀行及び中京銀行取引先とのマッチングや連携している自治体の紹介、融資による資金支援などを実施します。	資金調達支援、経営支援、CXO採用支援、各種サービスの投資先サポートプラン提供等、必要に応じて可能な限りサポートします。	1. パートナーの事業経験やネットワークに基づくハンズオン支援 2. 多くの事業会社との接点を生かしたPoC実現などの事業開発支援 3. 全国の有力大学研究室とのネットワークを生かした産学連携支援
ポートフォリオ	リンク先に掲載しております https://archetype.vc/#top-companies	シード~レイトまで幅広く投資。 2023年5月に2号ファンドを立ち上げ。	https://anri.vc/companies	https://epist.jp/investment/
Exit実績	IPOとしてはAbeja, Data Section、M&AとしてはSmart Camp, Ex Medioなど	現状はございません。	UUUM、ラクスル、クラウドワークス、デジタルフト、ペロリ、コネヒト、Sapeet等	現状はございません。
備考		地域金融機関グループとしてエクイティだけではなく、デット含む銀行取引全般の相談が可能です。		地方発のスタートアップが有する技術がしっかりと社会実装され、事業として成長するために、ファイナンスでのサポートはもちろんのこと、創業前からのメンタリングやPoCの実現などの支援を実施しております。

採択年度	R4	R2	R3	R4
企業名	伊藤忠テクノロジーベンチャーズ株式会社	インキュベイトファンド株式会社	インクルージョン・ジャパン株式会社	AA ファンド有限責任事業組合
HP	https://www.techv.co.jp/	https://incubatefund.com/	https://inclusionjapan.com/	-
VCの概要	シリーズA前後のアーリーステージを中心に「新産業を創出し、社会に進化を持たす」ことを目指し、特定のテーマ・バズワードを追った投資ではなく、投資対象企業が社会に与える本質的な価値を見極め、幅広い領域に投資をしていく。	シード期に特化した独立系ベンチャーキャピタル。創業期からのハンズオン支援にこだわり、実績を有するパートナーやHR、PRの専門チームによる手厚い支援を実施する。	ESGやSDGsを成長の追い風とするベンチャー企業への投資を投資戦略の軸に掲げる。ESG投資の第一人者である夫馬賢治氏、前国連大使でありSDGs普及の実績を持つ星野俊也氏を顧問に招聘し、世界基準に照らしたESG投資を実現すべく、国連責任投資原則(PRI)への署名も行っている。	プレシード、シード期のスタートアップをメインターゲットとした、エンジェル投資家2名で立ち上げたVCファンド
属性	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル、レイター	プレシード、シード	プレシードからアーリー中心	プレシード、シード期を中心
投資対象領域(業界等)	特定のテーマは定めておらず、。全領域が投資対象	エンタメやゲームなどのTo C事業、SaaSなどのTo B事業、ディープテック等幅広い領域にわたる。	制限なし	toCサービスを中心に、インターネット、テクノロジー領域全般
1社あたりへの投資金額(目安)	200~500百万円	1社当たり最高3,000百万円(現行の5号ファンドの場合)	100~200百万円	5~100百万円
リードインベスターのスタンス	状況に応じてリード、フォロー対応可能	原則として、ファーストラウンドのリード投資家としてリードを行う。	リードインベスターであることを原則としています。	プレシード、シード期においては、原則リードインベスター
投資先への支援内容	経営的な支援のほかに、伊藤忠グループの強みを生かし、営業事業開発支援を積極的に実施	経営支援、資金調達支援、自社で有している専門チームを通じたPR,HR支援	事業戦略の策定から、営業/マーケティング支援、ユーザー/市場調査、人材採用や育成、資金調達、アライアンスやM&Aなど、幅広く支援します。	・フェーズに応じた資金調達支援(資本政策表の策定、投資家提案への同席、投資家紹介)【随時】 ・営業先開拓支援、経営戦略策定支援、採用支援【随時】 ・オフラインでの起業家コミュニティ活動【随時】
ポートフォリオ	エンタープライズ、B2B、ヘルスケア、C向けサービス全般に投資詳細はHPご参照(https://www.techv.co.jp/portfolio/)	iSpace, Bitflyer, Pixie Dust Technology, Caster, WOVNなど	株式会社ゼロボード、株式会社Sustainacraft、株式会社クララオンライン、株式会社Magic Shields(※浜松市の企業)、株式会社ispace、など。	-
Exit実績	代表的な銘柄 メルカリ、ラクスル、クラウドワークス、ユーザーベース、ヤプリ、Retty他多数	iSpace, Pixie Dust Technology, キャスター、Sansan, Medley, Wealthnaviなど	株式会社ココナラ、株式会社ドリップ	-
備考		特になし。		-

採択年度	R1	R4	R3	R2
企業名	SMBCベンチャーキャピタル株式会社	株式会社MTGVentures	Gazelle Capital株式会社	株式会社Kips
HP	https://www.smbc-vc.co.jp/	https://mtgv.vc/	https://gazellecapital.vc/	http://www.kips.co.jp/company/aboutus
VCの概要	SMBCグループ唯一のベンチャーキャピタルとして多様なエクイティニーズにお応えしています。三井住友銀行本店各部やSMBC日興証券等と連携し、成長分野に対するエクイティ支援、IPO支援を行っています。事業ステージや業種を限定せず、幅広い領域に投資をするベンチャーキャピタルです。	SIXPADやRefaブランドに代表されるMTGグループのCVC。VITAL LIFEの実現に資するS-upに投資するファンド①MTGV投資事業有限責任組合と、中部地域の発展に資するS-upに投資するファンド②Central Japan Seed fund投資事業有限責任組合の運営を行う。	デジタル化が遅れている既存産業に変革を起こす創業期のベンチャー企業の未公開株式を取得し、創業期をサポートして企業価値を高め、イグジットにより利益獲得を目指すファンド。	【設立】2006年1月5日 【本社】東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル EGG JAPAN 【上場日】2019年9月20日 * 東証TOKYO PRO Market(9465) 【資本金】62,355千円 【代表者】代表取締役 國本行彦(JAFSCO出身)
属性	金融機関系	事業会社系	独立系	独立系
主な投資ステージ	全てのステージ	①アーリー、ミドル、レイター ②プレシード、シード	プレシード、シード、アーリー	シード・アーリー中心
投資対象領域(業界等)	全ての業種	①VITAL LIFE領域(Beauty&Wellness Tech領域) ②中部地域に拠点を置くもしくは中部地域に既存産業の発展に資する領域	農業・林業・漁業などの一次産業、建設業、製造業などの二次産業、不動産や保険、金融、などの三次産業のレガシーな産業に対し、DXを加速する事業やSaaS事業を展開する創業	業種・地域のフォーカスなし
1社あたりへの投資金額(目安)	非公開	①50百万円～100百万円 ②5百万円～30百万円	500～3,000百万円	10～50百万円
リードインベスターのスタンス	フォロワー投資家としての実績が多いですが、リードインベスターになる案件もございます。	①フォロワー投資中心 ②リード投資中心	基本的にリードで入る。例外的に、一部プレシールドAラウンドの企業にフォロワーでは入る場合もある。	主にリード投資
投資先への支援内容	投資先の経営支援に積極的に取り組み、一体となって企業価値向上を推進します。経営者との信頼関係を構築し、SMBCのネットワークを活かして投資先と大企業・人材・専門家との橋渡しに尽力します。	MTGグループのリソース(ものづくり・マーケティング・知財・経営管理)の提供や、MTGVメンバーによるメンタリング、ファイナンス支援、営業先・事業提携先の紹介、管理体制の構築の支援など。	営業支援 拡販活動、資金調達、弊社が運営するYouTubeチャンネルを活用した広報PR支援などを出資先に行う。また事業会社と連携し、50社を超えるサービスの無償、割引プランの提供を行う。	事業計画や資本政策の立案実行支援 認定NPO法人インデペンデンツクラブのネットワーク活用
ポートフォリオ	【業種】サービス41%、IT31%、ライフサイエンス13%、製造・テクノロジー12%、その他3% 【ステージ】シード3%、アーリー37%、ミドル39%、レイター10%、創薬系バイオ11%	VITAL LIFE領域(Beauty・Wellness・Food・Sportsなど)及び中部地域の産業活性化に資する領域のスタートアップ40社(2022年8月末時点)。	1号、2号合計で36社に投資実行済み(2023/8末時点) any株式会社、トランスミット株式会社、Recustomer株式会社、株式会社HANOWAなど	シード・アーリー中心に27社(2022年6月末時点)
Exit実績	【IPO】2022年度11社、2021年度14社、2020年度16社	GP個人のEXIT実績は累計200億円以上。 ①は2社(株式会社QDレーザー、琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社)。	1社M&A実績あり	株式会社ラクス(2015年12月9日マザーズ上場) トビラシステムズ株式会社(2019年4月25日マザーズ上場)
備考	(特になし)	ファンド①は2019年組入れ開始、ファンド②は2022年組入れ開始	2人組合型のCVCファンドを別途運用中。起案段階でも構いません。ぜひ気軽にご連絡をいただけますと幸いです。お話しさせていただけることを大変楽しみにしております!	

採択年度	R5	R5	R1	R5
企業名	QBキャピタル合同会社	クオンタムリープベンチャーズ株式会社	グローバル・ブレイン株式会社	グロービス・キャピタル・パートナーズ株式会社
HP	https://qbc.co.jp/	https://qxlv.jp/	https://globalbrains.com/	https://www.globiscapital.co.jp/ja/
VCの概要	QBキャピタルは、QB1号ファンド(約30億円)、2号ファンド総額(約70億円)を組成し、大学発、リアルテック系スタートアップに投資・成長支援を行うことにより、東京一極集中から脱却し、大学の「知」を活用した地域発イノベーションの創出を目指し活動しております。	シードステージに特化したベンチャーキャピタルとして、創業期からのハンズオン支援を実施。起業前から相談、設立関連のサポート、エンジニアリング支援(テックメンタリング)など、幅広いサポートが特徴。	独立系ベンチャーキャピタルとして2001年よりベンチャーキャピタル事業を行っており、徹底的なハンズオンとスピーディで透明な投資により、ベンチャー企業と共に成長していく企業を目指しております。また多くの大企業とのネットワークを強みとして、CVC運営およびアライアンス構築支援も強みとしております	グロービス・キャピタル・パートナーズはリードインベスターとして企業の成長のために必要となる「ヒト(人材)」「カネ(資金)」「チエ(経営戦略)」の3方向から総合的に投資先を支援する日本初の独立系ベンチャーキャピタルです。
属性	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	プレシード、シード、アーリー	プレシード、シード(PreAまで)	アーリー、ミドル、レイター	シード、アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	バイオ・医療機器、素材・ナノテック、情報通信・ソフトウェア、環境エネルギー、デジタルコンテンツ、医療・健康維持サービスその他大学発技術が強みを持つ事業分野	IT、テクノロジー(技術)をベースとしたスタートアップ企業に対し、ToB,ToC領域問わず幅広く出資	AI、SaaS、Commerce、Food Tech、Fintech/Blockchain、Robotics、Life Science、など次の成長産業となりうる領域へ幅広く投資をしております	IT関連、ヘルスケア、ディープテック等ポテンシャルの高いテーマに投資をしています。
1社あたりへの投資金額(目安)	10~500 百万円	10~100百万円	50~2,000百万円	数千万円~25億円(初回投資時)
リードインベスターのスタンス	基本的にリード投資を中心に投資活動を行なっています。	原則リード出資	主にリードインベスターとして投資し、積極的にボードメンバーに入り経営支援にコミットしております(案件によってはフォローインベスターとして投資させていただくこともあります)	リードインベスターとしてハンズオン支援を行う方針です。
投資先への支援内容	・取締役派遣 ・販路、連携大学の紹介 ・専門家等の紹介 ・資金調達のサポートなど	①週次~月次での定例ミーティングを実施し、事業開発支援・プロダクト開発支援・次回資金調達支援 ②非常勤エンジニアによる技術開発支援(テックメンタリング)	担当キャピタリストによる支援だけでなく、各領域のプロフェッショナルで構成される支援専門チームとも連携し戦略面からオペレーション、Exit支援まで幅広くサポートさせて頂いております	ヒト(社外取締役としての経営参画や採用支援等)、カネ(成長資金)、チエ(経営ノウハウ、経営課題の解決支援)を全面的に提供し、バリューアドチームと事業と組織両面で戦略・実行レイヤーを支援します。
ポートフォリオ	QB1号ファンドで25社、QB2号ファンドで15社、大学発、リアルテック系を中心に投資を行なっています。	プレシード、シード中心に20社超リード出資 https://qxlv.jp/portfolio	国内、海外含め多数(詳細はHP参照) https://globalbrains.com/portfolio	https://www.globiscapital.co.jp/ja/portfolio/
Exit実績	九州大学発スタートアップ「サイフューズ」が、2022年12月に東証グロース市場	1社(非公開)	IPO)レアジョブ、メルカリ、ウェルスナビ、BASE、ラクスル、メドレー、Creema、gifteeなど多数 M&A) SMARTCAMP、Loco Partners、LUXAなど多数	IPO実績は36社。 メルカリ、ビジョナル、メドレー、フォトシンス、ヤプリなど。
備考	大学の技術シーズ段階から事業化、起業化についてアドバイスをさせていただいておりますので、お気軽にご相談ください。			

採択年度	R4	R4	R2	R1
企業名	株式会社サイバーエージェント・キャピタル	株式会社サムライインキュベート	JMTCキャピタル合同会社	静岡キャピタル株式会社
HP	https://www.cyberagentcapital.com/	https://www.samurai-incubate.asia/	https://capital.jmtc.co.jp/	https://scc.shizuoka-fg.co.jp/
VCの概要	2006年の設立以来、アジアを中心に7カ国9拠点にてベンチャーキャピタル事業を展開し、これまでの累計投資社数は300社を超えます。	2008年設立のプレシード〜シードを中心としたアーリーステージフォーカスの独立系VCで日本、イスラエル、アフリカで230社を超える企業へ投資を行っています。	JMTCキャピタルは、ファブレス機能材料メーカーである日本材料技研を親会社とするベンチャーキャピタルです。化学・素材企業を共同出資者とする複数のファンドを通じて、ハードテック/ヘルスケア/マテリアルテックスタートアップの成長を支援しています。	1996年の1号ファンド設立以来、母体行である静岡銀行の営業エリア(東京、神奈川、静岡、愛知、大阪)を対象に、株式公開支援等エクイティファイナンスを展開。
属性	事業会社系	独立系	事業会社系	金融機関系
主な投資ステージ	プレシード、シード、アーリー	プレシード〜アーリー	シード、アーリー、ミドル	全てのステージ
投資対象領域(業界等)	インターネット・IT関連領域	IT完結サービスからディープテック領域まで幅広くほぼ全ての業種をカバーしております。	ハードテック/ヘルスケア/マテリアルテックスタートアップ	全ての業種
1社あたりへの投資金額(目安)	10~50百万円	3~200百万円	30~100百万円	10~100百万円
リードインベスターのスタンス	初回投資に関しては、原則リードインベスター	リードを中心としながらフォローでの投資検討も可能です。	運用ファンドにより異なる JMTCハードテック2号/JMTCヘルスケア:基本フォロー JMTCケミカル&マテリアルズ/MMCイノベーション:リードでもフォローでも可	静岡県内企業に対しては、リードインベスターを取るケースがあります。
投資先への支援内容	担当者およびグロスチームにて幅広くご支援を行っています。戦略、営業、資金調達、技術、組織・採用、PR等、ニーズに応じて随時ご提供しております。	経営支援、ファイナンス支援、大手企業を中心とした営業や連携先のご紹介を中心とした支援を行っています。	経営助言、材料開発支援や量産時における材料選定のサポート、必要に応じてLPとの共同開発等の推進等	①投資先事業とシナジーのある取引先とのビジネスマッチング。 ②資本政策、上場スケジュール、上場審査対応等に関する助言。 ③取締役会へのオブザーバー出席等を通じた業績向上に向けた支援。
ポートフォリオ	https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/	RoomClip、YAMAP、KOMPEITO、MyDearest、リンクバイオ、Morusほか	WHILL、SEQSENSE、トリプル・ダブリュー・ジャパン、Photo electron Soul、ユニロボット、RapyutaRobotics、エレファンテック、エネコートテクノロジー他	https://scc.shizuoka-fg.co.jp/portfolio/
Exit実績	IPO実績に関しては、こちらに記載 https://www.cyberagentcapital.com/portfolio/	IPO: ポート、エアークローゼット M&A: 多数	なし	1984年の創業以来、静岡県内企業を含め多数の株式公開を支援。
備考				

採択年度	R1	R3	R1	R3
企業名	信金キャピタル株式会社	Spiral Capital株式会社	栖峰投資ワークス株式会社	ゼロイチキャピタル
HP	https://www.shinkin-vc.co.jp/	https://spiral-cap.com/	https://siwi.info/	https://zeroichicapital.com/
VCの概要	全国の信用金庫とともに中小企業の育成・支援を行う、信金中央金庫100%子会社のベンチャーキャピタル会社です。信用金庫、信金中央金庫と連携して企業のライフステージに即した質の高い中小企業向け投資育成・経営支援サービスを提供しています。事業承継・M&A業務も手掛けており、企業の課題解決に努めています。	大企業のオープンイノベーション支援企業であるSpiral Innovation Partnersをグループ会社として設立し、スタートアップの事業成長に寄与する大企業との連携サポートを強みとする。また、投資銀行・コンサル・PE・VC・事業会社等、様々なバックグラウンドを有するキャピタリストが所属。	栖峰投資ワークスは「公正」を理念に掲げ、シード～アーリーステージのスタートアップへ投資を行う独立系VCです。投資後は、バックオフィス体制の構築支援から新規取引先開拓支援まで支援先のポータルネットとなっている領域への重点的なフォローアップを通じて、その成長を支援しております。	ゼロイチキャピタルは起業家にとって最初の伴走者として、起業前相談・アイディエーション・事業プラン立案・設立手続き・チームアップ・ファイナンス等多岐にわたる領域をサポートし、シリーズAラウンドへの早期到達、そしてその先の成長軌道に乗せることを目指します。
属性	金融機関係	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー、ミドル、レイター	アーリー、ミドル、レイター	シード～アーリー	プレシード、シード
投資対象領域(業界等)	対象業種は特定していません。但し、公序良俗に反する事業、風俗営業又は反社会的活動に従事もしくは関連する事業者は除きます。	インターネット・テクノロジー領域全般をカバーしつつ、X-Tech(ネットとリアル融合)を重点テーマとする。投資領域は、「業界変革型ビジネス」と「新産業創出型ビジネス」の2つが主な対象。	オールラウンド	コロナ禍において起こりつつある人の行動や価値観の変化、SDGs実現に向けた人や企業の意思決定の変化を捉え、社会に変革をもたらすインパクトの大きなテーマに取り組む起業家を積極的に支援します。
1社あたりへの投資金額(目安)	30百万円	50～1,000百万円	10～100百万円	30～50百万円
リードインベスターのスタンス	ファイナンス・ラウンドにおいてリードVCの役割を基本的にはとっていませんが、単独投資の場合はファイナンス手続き全般および事業運営サポートのお手伝いをいたします。	積極的にリード投資を行うスタンス。特にアーリーステージにおいては、半数以上がリード投資の実績を有する。	リードインベスター・フォロワー問わず。	原則として外部資金調達初回ラウンドにおけるリード投資家として参画することにこだわり、高いコミットメントで伴走します。
投資先への支援内容	①事業計画・資本政策策定、金融機関との良好な関係構築等のアドバイス、②ファイナンス時のVC紹介、営業マッチングの事業会社紹介、③主幹証券、監査法人、証券代行、証券印刷会社等との連携による上場サポート	上記の通り、大企業との連携・顧客紹介を強みとする。加えて、アーリー期の企業におけるCFO/CSOロールの提供、CxOの採用支援、マーケティング・PR支援、エグジット戦略策定支援を行う。	リード:ハンズオン フォロワー:ハンズイフ	・事業プラン立案 ・週1回経営会議の運用 ・ファイナンス ・オペレーション
ポートフォリオ	浜松市内では、株式会社HappyQuality、リンクウイズ株式会社、株式会社ANSeeNの各社様に投資しております。	X-Techをテーマに掲げ、これまで累計約50社に投資実行。うち、約7割程度がアーリーステージでの投資である。	インゲージ、おてつたび、SPLYZA、キュービクス等20社	現在9社に投資実行済 ・PaleBlue(超小型衛星用エンジン開発、東大発ベンチャー) ・Opt Fit(施設内の危険検知AI開発、名古屋発ベンチャー)
Exit実績	過去運営ファンド2本の投資先のうち30社が上場しました。2012年以降、投資対象を全国の信用金庫からの紹介先に絞っているため、最近では上場先が出ていないものの、投資EXITに至った投資先は多数あります。	これまでに4社のExit実績を有する。具体的には、rakumo社、エネチェンジ社、ビジョナル(旧ビズリーチ)社の3社がIPO、アイデンティティ社がM&AによるExitを迎えている。	1社(非公開)	なし
備考	しんきんーやらまいか投資事業有限責任組合(通称:やらまいかファンド)を運営しています。組合出資者であります浜松磐田信用金庫様から投資候補先企業をご紹介いただいております。地域貢献に努めております。	セイノーをアンカーLPとする物流領域特化型ファンドLogistics Innovation Fundも運営しており、上記の投資領域に加えて、物流周辺領域は積極的に投資を行っている。		2021年6月に新規設立

採択年度	R3	R5	R1	R3
企業名	株式会社ゼロワンブースターキャピタル	株式会社先端技術共創機構	大和企業投資株式会社	W株式会社
HP	https://01booster.co.jp/program/01capital	https://igpi-atac.co.jp/	https://www.daiwa-inv.co.jp/	https://w-inc.vc/
VCの概要	「日本を事業創造できる国にして世界を変える」という企業理念のもと、大手企業とベンチャー企業が相互に補完し合い、イノベーションを加速するコーポレートアクセラレータ・プログラムなどを運営すると共に、理念にそったアーリーステージのスタートアップへの出資を行っております。	当社は大学や研究機関が有する有望な先端技術を探求し、その社会実装を支援すべく活動しており、投資だけでなく、自ら事業化・経営を行っている。これまで東京大学や東京工業大学、産業技術総合研究所をはじめ、多くの大学・研究機関と技術インキュベーション協定を締結するなど、ネットワークを順次強化・拡大している	大和企業投資株式会社は、1982年に創業したベンチャーキャピタルです。大和証券グループを中心とした広範なビジネスネットワークや長年にわたる投資経験・ノウハウを活かし、これまでに数多くの企業の成長・株式市場に貢献してきました。	2019年に1号ファンドを50億円で組成。コンシューマーインターネット領域を中心とした投資。主にシード、アーリー期の企業に対しリード投資家として投資。
属性	事業会社系	事業会社系	金融機関係	独立系
主な投資ステージ	プレシード、シード、一部ミドル・レイター	プレシード、シード、アーリー	シードからレイターステージまで幅広く出資	シード・アーリー
投資対象領域(業界等)	領域は限定していません	対象業種の限定はせず、半導体、素材、バイオサイエンスなど幅広く検討	対象外領域なし	toCビジネスを中心に投資を実施。中でもライフスタイル、スポーツテック、エンターテインメント領域に注力している。
1社あたりへの投資金額(目安)	5～30百万円	～100百万円程度(フォローオン投資額含む)	1社あたり数億円(※事業進捗に応じ複数回の投資可能性あり)	10～200百万円
リードインベスターのスタンス	リード・フォロワーともに可能	原則としてリード投資だが、案件に応じて柔軟に検討	リード・フォロワーともに可能	基本的にリードで入ることが多い
投資先への支援内容	01Boosterがもつ事業会社ネットワークを活用した連携を軸に、IT、知財、金融業界で10年以上経験しているメンバーによる専門性を持ったメンタリングにより成長を支援しています。	研究者との共同創業型案件については、弊社が経営者も拠出し、バックオフィスを含む経営全般を推進。それ以外の投資についても、起業家メンタリング、バックオフィス支援、知財支援など、各種実務サポートを提供	大和証券グループを中心とした広範なネットワークによる顧客候補の紹介及びビジネスマッチング機会の提供など。資金調達、上場準備を意識した財務面でのアドバイスなど。	事業戦略作成のサポートや、弊社が運営するインキュベーション施設で期間限定で貸出、起業後間もない企業をオフィス提供という形でサポート外部のコンサルティング企業と提携しUI/UX勉強会等を実施
ポートフォリオ	https://01booster.co.jp/program/01capital	共同創業案件、プレシード案件を中心に10件強	https://www.daiwa-inv.co.jp/portfolio/	Creema、モノカブ、ガレージバンク、スナックミー、レンティオ、トリビュー、GO TODAY SHAiRE SALON
Exit実績	https://01booster.co.jp/program/01capital	なし	https://www.daiwa-inv.co.jp/feature/ipo/	Creema、モノカブ
備考				

採択年度	R5	R3	R3	R3
企業名	千葉道場株式会社	株式会社TNPスレッズオブライト	株式会社DGインキュベーション	株式会社DGベンチャーズ
HP	https://chiba-dojo.jp/1	https://www.tnp-g.jp/overview/threads/	https://dgincubation.com/	https://dgventures.com/
VCの概要	千葉道場ファンドは、千葉道場から生まれたコミュニティ・ベンチャーキャピタルとして設立されました。ファンド運用総額は約120億円となっており、主にシード・アーリーまたはレイターのスタートアップに投資実行しています。運営メンバーの約半数に起業家経験があるため、起業家目線に立った親身なサポートが特徴です。	2016年7月にTNPグループとして新たに立ち上げたベンチャーキャピタルです。TNPが構築してきたノウハウとネットワークに更なる専門性を持つメンバーを加え、Society5.0の実現に向けて、革新的技術を活かした新たな市場創出の可能性に資するベンチャー企業等への発掘・支援・育成を行っています。	株式会社デジタルガレージの100%子会社。Onlab採択企業への投資を行う「Onlab・ESG1号ファンド」、横浜銀行とのCVCファンドである「Hamagin DG Innovation Fund」、バイオ・ヘルスケア分野に取り組み企業を支援する「札幌イノベーションファンド」を運営。	デジタルガレージグループの投資事業を担う子会社として、インターネット分野においてグローバルに活躍する起業家を支援しています。グループの様々な事業とのシナジー効果を期待できるスタートアップ企業を対象に、投資だけでなく事業をともに創造するインキュベーターとして投資事業を行っております。
属性	独立系	独立系	事業会社系	事業会社系
主な投資ステージ	プレシード、シード、アーリー、レイター	全般に取り扱いますが、シード、アーリーが多くなっています。	シード、アーリー、ミドル	シード、アーリー、レイター
投資対象領域(業界等)	特定のテーマは定めていなく、IT・インターネット全領域が投資対象	「Society5.0」に向けた産業のパラダイムシフトに資する企業(バイオ、メディカル、ヘルスケア、ICT、IoT、ソフト、コンテンツ、デバイス、装置・プロセス技術開発、環境関連、エネルギー関連等)	Onlab採択企業、金融機関のオープンイノベーションや地域経済にイノベーションをもたらす企業、ESG・バイオ・ヘルスケアに関連する企業を中心に、今後将来性が見込まれるベンチャー企業が対象。	デジタルガレージグループと事業連携可能な企業を中心に、グローバルで投資を行っております。
1社あたりへの投資金額(目安)	数千万円から最大3億円まで	160百万円(現行ファンドの平均投資金額。アーリーの初期投資から始めて事業進捗に合わせた継続投資を基本とする)	数百万円～300百万円	数百万円～300百万円
リードインベスターのスタンス	シード、アーリー期においては主にリード投資が中心ですが、特段のこだわりはなく、フォロー投資も可能です。	シード、アーリー段階として経済価値を生むテクノロジー、サイエンスを発掘し、マイルストーンを事業計画に設定して継続投資をしていきます。	シード・アーリーステージでは、リードインベスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインベスターとなるケースあり。	シード・アーリーステージでは、リードインベスターとしての実績多数。ミドル・レイターステージにおいても、要望に応じてリードインベスターとなるケースあり。
投資先への支援内容	千葉道場はスタートアップ経営者が本音で語り合い、学び合い、切磋琢磨するコミュニティを提供しつつ、必要に応じて、資金調達支援から経営支援等のサポートを行います。	シード、アーリーのテクノロジー、サイエンスが、経済価値を生み出すための仮説、検証のための資金供給を含めた支援を実施、企業価値の極大化のために大企業等との協業を含めた育成システムで成長支援を行います。	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。	日本初のシードアクセラレータープログラムであるOnlabが有する多様な投資先支援のノウハウおよびグローバルな投資先とのネットワークを活用し、投資先の企業価値向上を全面的に支援。
ポートフォリオ	https://chiba-dojo.jp/1-3	(新設のためなし)	https://dgincubation.com/portfolio/	https://dgventures.com/portfolio/
Exit実績	SPACEMARKET, Neural Pocket, WealthNavi, Cover, Aidemy等	(TNPグループの既存ファンドから)ダブルスコープ、アイキューブドシステムズ、筑波精工、STG、シンバイオ製薬	Onlab・ESG1号ファンドでは株式会社LAMILA(M&A)、Hamagin DG Innovation Fundでは株式会社スマサポ(IPO)	Twitter、Facebook、LinkedIn、クラウドワークス、弁護士ドットコムなど、40社以上のExit実績(公開分のみ)。
備考				

採択年度	R4	R4	R2	R4
企業名	株式会社ディープロコア	株式会社Deep30	株式会社デフタ・キャピタル	デライト・ベンチャーズ
HP	https://deepcore.jp/	https://deep30.vc/	https://www.deftacapital.jp/	https://www.delight-ventures.com/
VCの概要	AI(特にディープラーニング及び周辺技術)技術の社会実装を促進することに重きを置き、当該技術系スタートアップの投資・支援を行うAI領域特化型のベンチャーキャピタルです。多くの企業とのネットワークや、運営するエンジニアコミュニティ”KENREL”を活用した支援を強みとしております。	Deep30投資事業有限責任組合は、ディープラーニングの将来性および日本国内におけるベンチャー育成の重要性に鑑み、将来的に日本の産業競争力の向上につながることを意図し、日本国内のさまざまな大学や研究機関、企業等におけるディープラーニングをはじめとする先端技術による事業創出機会を捉え、投資事業を営む。	「天寿を全うする直前まで健康でいられる社会の実現」を理念として米国・イスラエル・日本で企業育成を行うVC。代表は1980年代より米国でベンチャーキャピタリストとして活動している原丈人。本社は神奈川県横浜市。	シード～アーリーステージを中心に投資を行う独立系VCファンド。社会課題解決型スタートアップ中心に投資を行っている。事業としては、スタートアップへの投資を行うベンチャー投資事業とスタートアップスタジオを運営するベンチャービルダー事業の2事業を運営
属性	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー	シード～アーリー中心
投資対象領域(業界等)	AI、特にディープラーニング及び周辺技術をベースとする領域全般	国内を中心に高いディープラーニングの技術力を持ち、業界に変革を起こせるポテンシャルを持つAIスタートアップ及び、AI技術を用いることで、大きな事業価値の向上が見込めるスタートアップ	ヘルスケア領域を重点とはするものの、この領域はすそ野が広く、エネルギーや新素材、ビッグデータなど、健康分野への応用が利く技術を幅広くに取り扱います。	下記領域を中心に、社会課題解決型スタートアップ全般へ投資 -情報の非対称性を解消するビジネス -社会生産性を劇的に改善するビジネス -社会の持続性(サステナビリティ)に直接貢献するビジネス
1社あたりへの投資金額(目安)	30～100百万円程度(最小5百万円、最大500百万円)※フォローラウンドも含む	数千万円	30～200百万円	数百万円～500百万円(初回投資)
リードインベスターのスタンス	多くの案件でリードインベスターとして関わり、ハンズオンで支援しています。また、フォローオンも積極的に実施しています。	創業時、もしくはファーストラウンドのリード投資家として入り、経営パートナーとしてハンズオンで支援することが多い。	基本的にリードで入ることが多い。	状況・起業家の要望等に応じてリード・フォロー両方で対応可能
投資先への支援内容	・事業推進:成長戦略・知財戦略・協業推進・海外展開支援 ・人材採用:運営コミュニティ”KENREL”を活用したエンジニア・経営人材採用支援 ・次回調達ラウンド・Exit支援 ・バックオフィス支援等	・事業戦略、エンジニアリングの観点でのアドバイス ・バックオフィス機能の支援 ・出資先からの要望による取締役などの形で経営への関与	取締役やアドバイザーを派遣し、ハンズオン支援を行う。経営全般から、提携先企業紹介、資金調達、経営人材の紹介、海外進出の支援などをアドバイス。	資金調達・資本政策、グローバル展開、人材採用、組織設計、PR支援等
ポートフォリオ	現在運用中の投資事業組合の出資先:85社(2022年6月末時点) https://deepcore.jp/investment/	https://deep30.vc/ INVESTMENT参照	現在運用中の投資事業組合の出資先は24社(2023年8月末時点)、ライフサイエンス領域がほとんどで、シード期の出資が80%以上。	https://www.delight-ventures.com/portfolio
Exit実績	M&Aにて2社(株式会社UsideU・株式会社DEVEL)(2022年8月末時点)	connectome.design株式会社、ニューラルポケット株式会社、株式会社JDSC、株式会社StatHack	現在運用中の投資事業組合では、米国で3社(IPO1社、M&A2社)。グループ会社を含めれば1980年代より多数。主に米国でNasdaq上場やM&Aによるものが多い。	M&A1社
備考				2023年7月に2号ファンドを約150億円でファーストクローズ

採択年度	R3	R2	R5	R4
企業名	株式会社ドーガン・ベータ	DRONE FUND株式会社	農林中金キャピタル株式会社	NOBUNAGAキャピタルビレッジ株式会社
HP	https://dogan.vc	https://dronefund.vc/	https://www.nc-cap.co.jp/	http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/
VCの概要	ドーガン・ベータは、地域にこだわった投資を行うベンチャーキャピタルです。福岡から、九州を始めとした若いスタートアップ企業へと投資を行い、新産業の創造を促進することによって、地方経済における雇用の多様化やベンチャーエコシステムの活性化を行ってきました。今後、この取組みを他地域にも広げていきます。	DRONE FUNDはドローン・エアモビリティ前提社会の実現を目的として国内外のドローン・エアモビリティ及びその周辺領域の企業に対する出資およびハンズオンを行っています。投資だけでなく、LPを含む事業会社との事業開発の支援や社会受容性の向上を目的とした啓蒙活動、更には公共政策活動に注力しています。	農林中金キャピタル株式会社は、農林中央金庫の投資専門子会社としてJAグループのCVCである農林中金キャピタル戦略協創ファンドを運営しております。JAグループのオープンイノベーションラボであるAgVenture Labとも連携しながら、スタートアップ投資を行っています。	「地域経済」と「金融」にシナジーのあるスタートアップへ投資するCVC、「地域における将来の担い手」に投資する地域VCの2つのベンチャーファンドを運営しております。(CVCについては事業連携を前提としており、地域VCについては岐阜・愛知・三重・浜松エリアを対象に投資しております。)
属性	独立系	独立系	金融機関係	金融機関係
主な投資ステージ	プレシード / シード / プレシリーズA / シリーズA	全投資ステージ(プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイター等)	シード、アーリー	シード、アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	起業家の市場理解を尊重し、特に設けていません。	ドローン・エアモビリティ及びその周辺技術を事業領域とする国内外のスタートアップを対象としており、ドローンとは空を飛ぶものに限らず、陸・海・空のフィールドで自律的に動くロボティクス全般としております。	アグリ・フードテック、フィンテック、クライメイトテック、ライフテックなどJAグループと関連する領域全て	特定のテーマは定めておらず、全領域が投資対象
1社あたりへの投資金額(目安)	5~150百万円	10~500百万円	50~1,000百万円	5~100百万円
リードインベスターのスタンス	プレシード/シード期はリード投資が多く、複数ラウンドでの追加投資も実施。フォロー投資も検討が可能です。	シード、アーリー期の企業に対してはリードインベスターを取り、社外取締役の派遣などを通じて積極的に支援をしていく方針です。一方で、フォロー投資家として支援するケースもあり、柔軟に投資を検討致します。	リードインベスター・フォロワー問わず。	フォロー投資がメイン
投資先への支援内容	起業家の描く未来を尊重し、それを事業仮説やエクイティストーリーへと落とし込む支援を中心に行います。そのために必要となる議論の場の提供から顧客紹介、採用支援、調達支援などにも取り組んできました。	事業開発、メンタリング、ファイナンス、更には公共政策活動など幅広く支援をさせて頂いております。	①農林中央金庫や全農などを含むJAグループアセットを使ったPoCの実施 ②一次産業や行政との連携 ③JAグループの取引先のご紹介 ④AgVenture Labのネットワーク活用	経営的な支援のほかに、十六フィナンシャルグループの強みを生かし、営業支援を積極的に実施。また、事業連携による地方展開の戦略サポートを行います。
ポートフォリオ	年間10件程度の新規投資を実施。九州圏内を中心に投資を行っていますが、域外のスタートアップへの投資実績も増えています。 https://dogan.vc/portfolio	空飛ぶクルマを開発するSkyDrive、小型ドローンを開発するLiberaware、ドローンなどの航空管制技術を扱うトラジェクトリー、高精細なX線検出装置を開発するANSeeNなど	当ファンドは新設ですが、農林中央金庫のオープンイノベーションの取組の中で、複数企業・ファンドに投資しております。(以下参照) https://agventurelab.or.jp/news/nscf/	http://www.nobunaga-capital-village.co.jp/portfolio.html
Exit実績	株式会社ヘリオス[IPO]、福祉ソフト株式会社[M&A]、ウミーベ株式会社[M&A]、Hyuga Primary Care株式会社[IPO]、イジゲングループ株式会社[M&A]	株式会社ACSL(IPO)、株式会社DFA Robotics(M&A)	なし	非公開
備考				

採択年度	R5	R2	R3	R3
企業名	HAKOBUNE株式会社	Beyond Next Ventures株式会社	株式会社ファストトラックイニシアティブ	ブルー・マーリン・パートナーズ株式会社
HP	https://www.hkbn.vc/	https://beyondnextventures.com/	https://www.fti-jp.com/	http://www.bluemarl.in
VCの概要	異端児・はみ出し者へ初期投資を行う独立系ベンチャーキャピタルです。プレシード、シード期の大人起業家に積極的に投資をします。	Beyond Next Venturesは、大学や企業などで革新的な技術の開発に取り組む研究者や、技術系スタートアップの起業家と共に、新たな産業の創出に取り組んでおり、出資事業を起点に多角的に事業を展開することで、研究者や起業家の皆様への総合的な支援が可能な独自のエコシステムを構築してまいります。	ファストトラックイニシアティブは、バイオ・ヘルスケアに特化した独立系VCで、創業前インキュベーション、新ビジネスモデル創出、専門性の高い経営支援に実績を有しております。	当社は「2020～2040年に向けて繁栄する社会的事業の創造」をビジョンに掲げ、超長期の産業の芽を育て次代を拓くことを使命とするベンチャーキャピタルです。メンバーに事業創造のプロフェッショナルを多数擁しており、マーケットの流行や業種・業態を超えた新しいパラダイムの産業にコミットします。
属性	独立系	独立系、大学系	独立系	独立系
主な投資ステージ	プレシード、シード	プレシード、シード、アーリー	プレシード、シード、アーリー	主にプレシードおよびシード
投資対象領域(業界等)	バイオを除く全業種を投資対象としています	医療・ヘルスケア等のディープテックスタートアップへのインキュベーション投資。また、国内のみならず、インドをはじめとする海外のスタートアップへの投資にも注力しています。	バイオテック: 医薬品、医療機器、遺伝子・細胞治療、診断薬・機器、バイオ機器・試薬など ヘルステック: 医療ICT、予防関連、在宅医療関連、流通、食品・栄養など	先端テック、宇宙開発、医療領域を中心としつつ、アニメーション制作事業や劇団、あるいは地域の公共財産に資するインフラ整備や伝統芸能といった文化・産業承継事業などに渡り幅広い業界を投資対象としています。
1社あたりへの投資金額(目安)	10～50百万円	初回投資としては約100百万円、累計で約5～10億円	50～500百万円程度	およそ10～100百万円
リードインベスターのスタンス	シード期においては基本的にリード投資。フォロー投資も可。	リードインベスターとしての関与が中心	多くの案件につきましてリードインベスターとして関わっております。但し、フォローでの投資を行うケースもございます。	状況に応じてリードとしてもフォローとしても入ることが可能です。
投資先への支援内容	月1～2回のメンタリングを通じた事業の壁打ち、顧客支援、採用支援などハンズオン支援を実施。投資先のニーズに合わせて柔軟に支援内容を設計しています。	経営助言、資金調達、経営チームの組成、業務提携支援、販売支援、IPO支援など、出資先の課題解決や価値向上につながる支援を幅広く実施	専門性高く、粘り強いハンズオン支援が特徴です。経営チームの組成から、R&D戦略・事業戦略・資金調達戦略の立案と実行、事業会社との連携・事業開発など幅広い支援を行っております。	起業家のメンタリング、事業計画・資本政策策定、資金調達、経営戦略策定と実行、ビジネスマッチング支援、多様なポートフォリオ企業との連携等、事業の成長フェーズに合わせ最適な支援を提供します。
ポートフォリオ	エアドア・ディッシュウィル・EuphoPia・Herazika・KEEN・datagusto・渋谷ブレンドグリーンエナジー・エイトス・Lexi・oshimo・Virtualize・HANATABA	ファンド運用総額は220億円、出資先は計73社です。出資先はこちら https://beyondnextventures.com/jp/portfolio/	バイオテック: モジュラス、レイゾンセラピューテックス、PuRECなど ヘルステック: メンタルヘルステクノロジーズ、ファストドクター、メディフォンなど	宇宙開発(ispace)やロボティクス(QibiTech)、ブロックチェーン(ToposWare)から劇団(ホチキス)まで、多岐に渡る業種の中で新しいパラダイムの担い手となる事業に出資しています。
Exit実績	新設のためございません	QDレーザ(IPO)、サスメド(IPO)、Repertoire Genesis(M&A)、Bolt Medical(M&A)、ほか	IPO: モダリス、グリーンペプタイド(現ブライトパスバイオ)、カイオム・バイオサイエンス、セルシード M&A: アクユルナ、ProbeX、医療情報総合研究所	非公開会社一社
備考				投資を行うにあたって「一貫性があり」「スケール化への意欲を持ち」「学び続ける意欲のある」人物であるかを重視しています。また独自に体系化した再現性ある事業創造の手法を基にハンズオンを行います。

採択年度	R4	R5	R3	R3
企業名	株式会社 ベンチャーラボインベストメント	マネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社	マネックスベンチャーズ株式会社	三菱UFJキャピタル株式会社
HP	https://www.venturelaboinvestment.co.jp	https://www.hirac.co.jp/	http://www.monexventures.com/	https://www.mucap.co.jp/
VCの概要	技術・特許、事業・企業価値評価及びベンチャーファイナンス支援を得意とする『スタートアップ企業型独立系ベンチャーキャピタル』。 創業期からの公認会計士資格を有するファンドマネージャーと事業の中身がわかる専門家なるハンズオンチームでハンズオンを成長を力強く支援。	株式会社マネーフォワードのVCとして、2020年6月に「HIRAC FUND 1号」を組成。「アントレプレナーファンド」というテーマのもと、弊社パートナー自身の起業・事業成長や資金調達の経験をもとに、投資先起業家を支援。2022年12月に「HIRAC FUND2号」を組成。	主にシード・アーリーステージのスタートアップへ投資。マネックスグループのCVCとして立ち上げ、現在は外部資金を調達し、VCとしての投資活動を推進	1974年の設立以来、スタートアップに対し一貫して成長資金を供給。三菱UFJキャピタルとして統合された2005年以降、投資件数は累計で約1,600件、投資金額は約930億円に至る実績を築いています。国内有数の金融グループであるMUFGの一員として、本邦産業発展への貢献を目指し活動して参ります
属性	独立系	事業会社系	金融機関係	金融機関係
主な投資ステージ	プレシード、シード、アーリー、ミドル、レイターに至るすべてのステージが投資対象	シードからアーリーステージの企業への投資が基本方針。ミドル～レイターステージの企業への投資も検討可能。	シード、アーリー	シード、アーリー、ミドル、レイター
投資対象領域(業界等)	当社は、技術、特許、事業、企業価値評価会社であるベンチャーラボのVCであり、投資分野は、ものづくり分野から医療・バイオ、フィンテック、WEB 3.0領域まで幅広い分野を投資検討対象とする	伝統産業×Tech(金融、不動産、物流、人材、旅行、医療、農業等)、IT(ペイメント、コマース、メディアエンタメ等)の領域、Web3、AI、VR/AR等、幅広い領域。	幅広い業種・業界への投資を実行。特にFintech、PropTech、Insurtechなど金融・不動産領域への投資に強み	全国40名のキャピタリストが、DX・Tech・Fintech・ライフサイエンス等の先端領域から、モノづくり・生活関連の領域まで、次世代の成長産業を支える投資を精力的に行っています
1社あたりへの投資金額(目安)	数百万円～数億円まで各成長ステージに応じ投資支援を実施	30～300百万円	～50百万円	10～1,000百万円(含む追加投資)
リードインベスターのスタンス	ファーストラウンドのリード投資家としてから、その後の成長ステージに至るまで各段階に応じた成長支援を行います。	リード、フォロー対応可能	ラウンドの調達総額によっては、リードポジションを取る場合あり。基本はフォローポジション	幅広い領域で有望スタートアップとの接点を強化、リード投資や早期ステージからの資金供給も含め、各社の成長スピード、事業戦略に応じた形でさまざまなサポートを行って参ります
投資先への支援内容	弊社、公認会計士資格を有するファンドマネージャーとそれぞれの事業の専門性に精通した専門家からなる当社独自のハンズオンチーム体制で成長の支援を行います。	ファイナンス支援、販路拡大支援、人材採用と組織強化の支援、起業家育成とネットワーク構築支援、広報支援	定期的なメンタリングの実施による、上場までのエクイティストーリーの構築支援、および資金調達支援等	それぞれの領域で専門性に秀でたプロフェッショナルが、投資先の事業戦略サポート、オープンイノベーションとの連携を実現することにより、スタートアップの成長に向けたより確度の高いハンズオン支援を行っています
ポートフォリオ	すでに30社以上に投資実行済み。(例) SPLYZA(浜松市)、シルバコンパス(浜松市)、bitFlyer(東京)、テコテック(東京)、テックオーシャン(東京)等	https://www.hirac.co.jp/portfolio	HPをご確認ください(累計投資者数は100社超)	基幹ファンド6本(総額900億円)、ライフサイエンスファンド4本(同500億円)を中心に運用ファンド総額は約1,400億円です。2022年度の投資では、3分の2がシード・アーリーへの投資となりました
Exit実績	サイバーダイン(医療ロボット、筑波大学発ベンチャー)、Clio(バイオ、東北大学発ベンチャー)、One Tap BUY(現PayPay証券)	・株式会社トリドリ(22年12月上場) ・株式会社GENDA(2023年7月上場)	株式会社ユーザベース(TSE3966)、株式会社マネーフォワード(TSE3994)、株式会社ポケットコンシェルジュ、株式会社トレッタキャッツ、株式会社アルファ	これまで910社超のスタートアップのIPOを支援。足元2019年度以降では、40社の投資先が上場しました
備考	当社では、新たに mRNA関連fバイオメディカルスタートアップベンチャーを支援する専用ファンドの立ち上げを発表しました。	2号ファンドでは、全国各地の地方銀行や事業会社からLP出資をいただいております。		スタートアップ支援に果敢にチャレンジする「やらまいか精神」に共感し、認定VCとして活動しています。グローバル拠点都市「浜松」を盛り上げるため、全力で応援させていただきます！

採択年度	R5	R2	R3	R1
企業名	株式会社mint	株式会社Monozukuri Ventures	ライフタイムベンチャーズ	リアルテックホールディングス株式会社
HP	https://mint-vc.com/	https://monozukuri.vc/ja/	https://lifetime-ventures.com/	https://www.realtech.holdings/
VCの概要	当ファンドは、プレシード期のスタートアップ企業に対し、追加投資を含めて1,000万円～3億円程度の出資を予定しています。起業を検討・予定されている方向けのオフィス支援/起業家コミュニティ「FLAP」、などを通じた創業支援を行なっています。	ハードウェア・スタートアップへの投資と試作・量産化に関する技術コンサルティングを提供しています。2017年に1号ファンド、2021年に2号ファンドを設立しており、これまでに52社(日本23社、米国28社、他1社)に投資しています。また試作・量産化も160件以上の実績があります(2022年3月末)。	「長く愛され、存在し続ける事業を創出する『才能』に投資する」をミッションとするシードVC。プロダクト未ローンチ段階のプレシード期、共同創業者コミット前のプレチーム期からでも投資し、初期トラクションの形成と次回ラウンドファイナンスの実現に向けたハンズオンでの成長支援を行う。	「リアルテックファンド」は地球と人類の課題を解決するベンチャーの支援に特化しております。私たちの投資目的は、本質的には価値を持っていても、資金や環境のためにそれを発揮できない人を救うことです。どんなに理解されにくい技術でも、本当に世界を変えたい強い想いと、それを可能にする技術を持つ人を応援します。
属性	独立系	独立系	独立系	独立系
主な投資ステージ	プレシード	シード、アーリー	プレシード、シード	シード、アーリー
投資対象領域(業界等)	事業領域にはこだわらず、日本を中心とするプレシード期のスタートアップが対象となります。	IoT/DX等のハードウェア関連するスタートアップ。また少量生産に寄与するソフトウェアや材料を含む技術分野のスタートアップ。	Health&BioTech、Industry Cloud、Future of Work、Sustainable Living、X-border Japanの5領域	研究開発型・ディープテック領域
1社あたりへの投資金額(目安)	追加出資も含めて30～300百万円	30～100百万円	初回投資:プレチーム5百万円、プレシード/シード30-50百万円 追加投資:シリーズA 50-100百万円程度	10～300百万円
リードインベスターのスタンス	リード出資を中心的に行なっています。	投資金額の範囲内であればリードも積極的に取ります。	プレシード/シードでの初回投資時は原則としてリード投資のみ行う。シリーズAラウンドでもプロラタ～リードにて積極的に追加投資を行う。他投資家の紹介や面談同席も積極的に行う。	シード・アーリー期における投資では原則リードインベスターとしてハンズオン支援を行う方針です。
投資先への支援内容	起業家同士・先輩経営者・各分野のプロフェッショナルのコミュニティを通じた、創業支援や、シリーズA調達に向けたマイルストーン策定及び、投資家めぐりのサポートなど。	試作・量産化等のモノづくり支援と事業会社との事業開発支援	プレチーム期は共同創業者の採用支援、プレシード期はユーザーニーズの検証支援、ポストシード期は初期トラクションを作るレベニューフローの構築支援を主として行う。	資金調達や事業開発支援をベースに、知財戦略策定、組織設計・人材採用、広報・ブランディング、ものづくりに関する支援をBoosterとして提供しています。
ポートフォリオ	株式会社BALLAS、SOUNDRAW株式会社、SHE株式会社、株式会社TENTIAL、Synflux株式会社	Mitate Zepto Technica、Waqua、ugo、レボーン、Magic Shields等	Rehab for JAPAN、IMCF、ウーオ、センセイプレイス、エピグノ、METRICA、Carstay、SPeak、IB、Douzo、KiteRa、Lisa Technologies等	QDレーザ(エレクトロニクス)、ispace(宇宙)、kyulux(新素材)、i-HeartJapan(医薬医療機器)、チャレナジー(環境エネルギー)、メルティン(ロボティクス)等
Exit実績	カバー株式会社	Mira(Apple買収)	新設ファンドのため未だなし	QDレーザ(2021年2月に東証マザーズにIPO)、アメリエフ(2021年9月にPHCHDと資本業務提携)
備考				

採択年度	R2	R5
企業名	りそなキャピタル株式会社	レオス・キャピタルパートナーズ株式会社
HP	https://www.resona-gr.co.jp/resonacapital/index.html	https://www.rheos.jp/corporate/capital-partners.html
VCの概要	<p>・りそなグループの傘下企業で設立以来35年以上にわたり株式上場の投資実績を積み上げて参りました。</p> <p>・特にグループ銀行の法人取引先(現在約51万社)や地公体との深いつながりを通じて、投資先へのビジネスの機会の斡旋といった成長支援に注力していけるよう東京・大阪の両拠点のネットワークを生かしています。</p>	<p>投資信託「ひふみ」シリーズを運用するレオス・キャピタルワークス株式会社が、「資本市場を通じて社会に貢献します」という経営理念の更なる追求のため、上場株式の運用から未公開株式へも事業範囲を拡大し、2021年にベンチャー企業への出資等を目的にベンチャーキャピタル子会社として設立。</p>
属性	金融機関係	金融機関係
主な投資ステージ	アーリー、ミドル、レイター	シード、アーリー中心
投資対象領域(業界等)	<p>・独自の価値創出でイノベーションを起こし、成長が期待できる企業への投資を基本とする</p> <p>・業種の制限はなく、情報通信、サービス、製造、卸小売、創薬まで幅広く投資</p>	<p>制限は無いが、次の4テーマが主軸 「ものづくり技術」「デジタル」「ディープテック」「カーブアウト」</p>
1社あたりへの投資金額(目安)	20~100百万円	5~50百万円
リードインベスターのスタンス	基本的にリードではなくフォローで入ることが多い	状況に応じてリード、フォロー対応可能
投資先への支援内容	<p>①銀行取引(資金調達支援、海外進出支援、内外為決済機能支援、信託機能の提供等)</p> <p>②ビジネスマッチング(販売先、外注先、仕入先、地公体等)</p> <p>③経営支援(助言、予実管理支援等)</p>	<p>” ■ 経営支援 ■ 事業開発支援 ■ 組織開発支援 ■ 資金調達支援 ”</p>
ポートフォリオ	エアモビリティ(SkyDrive)、AI(HACARUS)、オンラインサービス(ソーシャルインテリア)、ロボティクス(人機一体)、DX(スカイディスク)、素材(ユニケム)等	https://www.rheos.jp/corporate/capitalpartners/news/index.html
Exit実績	<p>・過去5年投資先全56先のうち、EXIT実績はIPO7社、M&A1社</p> <p>・累計公開社数452社(2023年3月現在)</p>	1号ファンド設立直後のためExit実績なし(2023年8月末時点)
備考		「ものづくり」に関わるすべての産業の付加価値向上に寄与する、技術と事業推進力のある経営者がリードするベンチャー企業への投資を通じて、「地球に優しい」「人に優しい」の実現を目指しております。